

2008年6月24日 ウィルミントン、DE、米国／バーゼル、スイス発

プレスリリース日本語訳

デュポン社とシンジェンタ社、農薬に関する技術交換で合意

本日シンジェンタ社とデュポン社は、両社の農薬製品ポートフォリオの拡大と新製品のより効率的な販売に関して合意したと発表しました。

両社は、デュポンの鱗翅目および吸汁害虫を防除する広範囲のスペクトラムを有する新規殺虫剤、**Cyazapyr™**の登録取得に必要な試験費用を分担します。これにより両社にとっての**Cyazapyr™**のグローバルでの登録と商品化の機会の拡大につながります。現在シンジェンタはデュポンの**Rynaxypyr®**と自社の主要な殺虫剤との混合剤開発を進めていますが、**Cyazapyr™**は、殺虫剤ポートフォリオをより完全なものにします。

本合意のもと、シンジェンタは、デュポンに**Callisto®**の有効成分であるメソトリオンへのアクセス権を許諾します。デュポンは、メソトリオンとデュポンが所有権を有するトウモロコシおよびさとうきび用除草剤成分との混合剤を開発します。

シンジェンタの農薬部門の最高執行責任者であるジョン・アトキンは、「この合意によりシンジェンタは、約80億ドルの売上が見込まれるグローバルの殺虫剤市場において、幅広いスペクトラムのソリューションに発展する新規化合物にアクセスすることが可能となります。当社の製品ポートフォリオと開発中の新製品を大きく補うこれらの製品により、生産者により良い害虫防除と増収のための更なる選択肢を提供することができます。メソトリオンに関する合意は、本市場における最新技術を更に拡大する機会となるでしょう」と語っています。

「これは、デュポンの農薬製品パイプラインがいかに高品質であるかを外部が認めた一つの例であることに加えて、これまでになく汎用性をもったパイプライン製品を我々の顧客により速く提供するというデュポンの戦略において革新的な一歩となるのです。」とデュポンの農薬部門の統括マネジャーであるジェームス・C・コリンズは語っています。「本合意により、我々の顧客へ提供できる製品が広がり、さらにデュポンが、今日そして将来にわたり、我々の顧客の生産性と利益性の向上を手助けする解決策を提供していく今後の開発製品への更なる投資につながっていくのです。」

本合意における金銭面での条件は、開示されません。